

ゆきの灯り

第77号

令和5年6月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビイ



水無月



天空の里 美味しい山菜を食べる会

(小野自治振興会)

4月30日(日)、小野地区において「美味しい山菜を食べる会」が38名(子ども9名)の参加者を得て4年ぶりに開催されました。

当日は、「山菜取り」「餅つき」「料理」の3グループに分かれ、それぞれが12時から昼食会に向けて準備を進めました。当日は、「山菜ごはん・山菜の天ぷら等の山菜尽くし・猪肉の煮つけ・小野で作られた味噌汁・お餅等々」の山の幸満載のメニューで、参加された皆さんは食べて飲んで舌鼓をうち、大いに盛り上がっていました。

参加者の内訳は、移住されて来た方9名、町外からの参加者22名、地元の方7名で、「地元の方と移住されてきた方が協力して、町外からのお客様を迎えて共に楽しむ」という今回のようなイベントの開催を通じて、小野地区に移住される方が着実に増えている理由が少しわかったような気がしました。



楽しい時間が過ぎました

田植え体験学習

5月24日(水)、東油木地域を会場に「神石イナターナショナルスクール(神石高原学園)」の田植え体験学習が開催されました。

これは、「神石高原つたえるネット」を通して「東油木自治振興会想造工房」の事業として、「日本の食文化・自然環境」の大切さを考えるために実施されたもので、1〜3年生の児童16名が参加しました。

最初は恐る恐る田圃に入りましたが、2・3年生は昨年度も体験しており、慣れてくると植えるスピードもアップしていききました。

児童からは「3年生なのでもう来ることはないけど、良い体験ができた。」「一昨年より、去年より、今年が楽しかった。」等の声が聞かれました。今後、「秋の稲刈り」「冬の餅つき」と児童たちの楽しみは続きます。



特報!

5月19日からの「G7広島サミット」に先立ち、18日に開催された「歓迎レセプション」の席で「神石牛のローストビーフ」が提供されました。昨年の「日米首脳会談」に続き、世界中に「神石牛」が発信されました。

毛一長高!



RCC 中国放送 ラジオカー取材



早速翌日には来館者があり、ラジオの力を改めて感じました。今後多くの方々の来館を期待しています。

(開館日：月・水・金 11:00〜19:00)

にしかわ化石館

「修学旅行生」来館

5月19日(金)、大阪市からの修学旅行生が「にしかわ化石館」を訪れました。これは「神石高原町観光による地域づくり協議会」が主体となって実施された企画で、34名の中学3年生が「自立意識やコミュニケーション能力の向上・異文化の価値認識や文化の理解促進等」を目的に、町内13世帯に分かれてホームステイをし、その中で油木地区へホームステイをした14名のうち、平田榮次さん宅へ宿泊した4名が訪れたものです。

生徒たちは、松岡純夫分室長の案内・指導で化石・鉱石を見学し、化石クリーニング体験を行いました。クリーニング体験で岩の中から出た化石は、大切なお土産になったようです。



- 化石クリーニングの方法は知っていたけど、初めてしたら不思議な体験だった。化石や生き物が好きだから良かった。
- 恐竜の卵と化石にテンションが上がった。音が鳴る石からきれいな音が出てびっくりした。
- 授業で習った化石や、見たことのない化石がたくさんあって、見ていて飽きなかった。シーラカンスと宝石のところ良かった。
- 今日化石を採り出した時、「この時代まで遺っていたんだ」とびっくりした。楽しくできて良かった。

(感想：一部抜粋)

5月のゆきキッズ

令和5年度の「ゆきキッズ」が始まり、賑やかな小学生の声会場に響きました。今年度は28回開催予定です。楽しい1年になれば良いですね。

■料理教室①(5月27日)

大西智子先生の指導で、ホットケーキ作りに挑戦しました。縦割り班となり、高学年の子が低学年を見守りながら協力してがんばることができました。



神石高原LC ボランティア活動



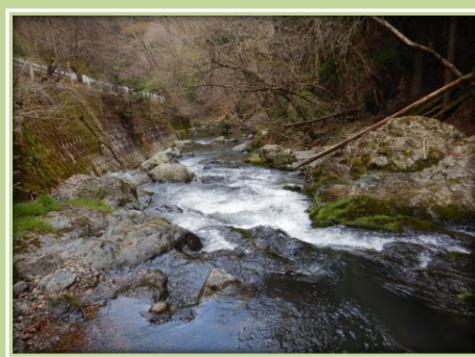
神石高原ライオンズクラブ(赤木俊二会長)は、4月29日(土)に仙養ヶ原へと続く「ふれあいロード」の清掃奉仕活動を行いました。
歩道・側溝には落葉・枯葉が堆積し、雨が降れば溢れて流れるような状態で美観を損ねていましたが、約2時間の作業で少しは「景観つくり」に貢献ができたように思います。
これからも、地域に少しでも関わられる活動を継続していきたいです。
(獅子十六)

溪流釣り解禁!!



高梁川水系成羽川の東城漁協及び帝釈峡管内で、アマゴ釣りが4月1日に解禁になりました。お隣の島根県や岡山県は3月解禁といった事情もあり、昔は場所取りで焚火にあたりながら夜明けを待つ大勢の釣りがいました。今では思い思いの場所に釣り人が一人といった具合で隔世の感があります。
今年も雨が少なくないうえ、直前の放流後も雨がなかったため、魚が散らさずに放流場所を知っている者と知らない者の釣果に大きな差が出た解禁日だったようです。
さて、写真は解禁後の平日に帝釈川上流へ釣りに行った時のものです。
水温は12℃。朝から晴れて気温が上がると、川虫が川面に飛び、時折アマゴが虫を食べて姿を現します。餌はぶどう虫と栗虫、早くも瀬に出て餌を待っています。目印がふっと止まるのを見て合わせると、ググッと魚の暴れる感触が竿に伝わり、バーマークが美しいアマゴが釣れてきます。
15cm以下の小さな魚は川に戻して、釣果は9匹でした。これから藤の花が咲く季節まで、両組合管内で溪流釣りが楽しめます。

(魚好人三平)



令和5年度 ゆき軽トラ「朝」市

開催期間：6月～11月 第3金曜日 9:00～11:00
場所：旧油木百彩館跡地

出店者大募集!!

開催日：6月16日 7月21日 8月__日
9月15日 10月20日 11月17日
(※8月は後日決定します)

野菜/果物/手芸品...
なんでもOK!
軽トラなくてもOK!



軽トラ「朝」市は、年間6回開催します。賑やかに元気を出してがんばりましょう!
お問い合わせ・申し込み・油木協働支援センター ☎82-0701

今年も開催します!! 年間5回

Squash Lesson

講師：郡司孝一先生

みんな集まれ!

- ① 7月 2日(日) ② 9月 3日(日)
- ③ 10月22日(日) ④ 11月12日(日)
- ⑤ 3月10日(日)

場所：油木コミュニティセンター2F

お問い合わせ・申し込み・油木協働支援センター ☎82-0701

大人の教室

～アートクラブ～

- 7月 7日(金) 色鉛筆画
- 10月11日(水) パステル画
- 11月20日(月) 消しゴムはんこ
- 2月26日(月) 紙粘土

講師：若林佐都子先生



7月より始まります。(講座毎に募集します)
詳細は、油木協働支援センターHP、11Chで確認してください。

シルトピアカレッジ図書館 令和5年度 企画予定

- 絵本のお話会(第1第3土曜日14:00～)
- 図書館ちょっとヨガ(第2土曜日10:15～)
- 映画上映会(第4土曜日14:00～)

※詳細はシルトピアカレッジ図書館へ

お問い合わせください。☎ 82-2002 (休館：月曜日)



6月は「食育月間」です。「食育」は、生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎と位置付けられるとともに、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものと定義づけられています。生涯にわたって「食べる力」＝「生きる力」を育むこと、それが「食育」です!



「地元の特産品等を活用した食育の推進」が評価され、神石高原町食育推進ネットワーク協議会が文部科学大臣から表彰されました。(R5.2.10)

—しっかりとした善悪の判断を— (参考：香川県教育委員会「今こそ家庭教育」)

★地域で子どもを見守り育てましょう (油木協働支援センター)



○大人にとってはごく当たり前になる良いこと悪いことでも、子どもには区別できないことがあります。身の回りの気になることを見つけた時がチャンスです。規範意識の芽は、具体的な出来事の中でしっかりと説明することが最も効果的です。

よいことと悪いことの区別

子どもが非行に走らないようにするには、親子の会話が重要。
日常の会話から、学校で起こっている変化、生活態度や言葉づかいの変化など、予兆を読み取ることが必要。

○少年期の「飲酒・喫煙」「迷惑・粗暴行為」などの問題行動は、幼少期の愛情の不足や溺愛、高すぎる期待、克服体験の不足など、家庭を含めた様々な要因が影響していると考えられます。幼少期に家族や周囲の愛情に満たされることのなかった子どもが、自分の居場所を求めて誘惑刺激に引き寄せられた結果とも言えます。

社会のルール「ダメなことはダメ!」を意識させることが大切。
危機意識を持って、常日頃から子どもに寄り添い見守る。



子育てチェック

- 物を大切にできる気持ちは育てたいと思う。
- 子どもは友達関係についてたくさん話をしてくれる。



ワンポイント・アドバイス

- 1 子どもたちからこそ善悪の区別についてしっかりと教えましょう
- 2 子どもとの会話の中で小さなメッセージが隠れています
- 3 小さな過ちを見逃さなければ大過にはつながりません